



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 椿本チエイン

コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長 勇

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 和田 幸子

TEL 06-6441-0054

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	44,448	9.6	4,547	42.5	4,780	46.8	3,045	59.3
26年3月期第1四半期	40,539	12.5	3,190	△2.2	3,255	△2.6	1,911	0.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,758百万円 (△57.4%) 26年3月期第1四半期 6,468百万円 (349.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	16.28	—
26年3月期第1四半期	10.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	227,081	122,668	52.6
26年3月期	228,840	121,628	51.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 119,377百万円 26年3月期 118,433百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	6.00	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,500	7.1	9,100	23.9	9,100	21.1	5,700	30.4	30.46
通期	186,000	4.5	18,600	7.2	18,600	3.4	11,700	14.6	62.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	191,406,969 株	26年3月期	191,406,969 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	4,295,863 株	26年3月期	4,292,184 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	187,113,266 株	26年3月期1Q	187,140,394 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）における当社グループの事業環境は、わが国においては消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が懸念されたものの、政府経済政策の効果などにより景気は緩やかな回復基調が続きました。海外においては、中国の経済成長にやや鈍化がみられるものの、アセアン諸国を中心としたアジア経済が概ね堅調に推移したことや米国経済の拡大基調が持続したこと、また欧州経済も個人消費の改善などから回復傾向となるなど、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2016」に掲げた戦略課題の達成に向けて、地域戦略、商品戦略の見直しに取り組むとともに、収益体質の強化に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は464億73百万円（前年同期比12.0%増）、売上高は444億48百万円（同9.6%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は45億47百万円（同42.5%増）、経常利益は47億80百万円（同46.8%増）、四半期純利益は30億45百万円（同59.3%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内において動力伝動用チェーンや搬送用チェーンなどの販売が堅調であったほか、欧州やアジアにおける搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は141億9百万円（前年同期比5.6%増）、売上高は145億69百万円（同9.3%増）、営業利益は13億7百万円（同60.5%増）となりました。

[精機]

精機につきましては、日本国内において減速機や軸継手、締結具などの販売が好調であったことに加え、中国においても減速機の販売が好調に推移したことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、精機の受注高は55億25百万円（前年同期比5.4%増）、売上高は53億83百万円（同12.3%増）、営業利益は5億32百万円（同44.4%増）となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、日本国内、米国、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点において自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は159億47百万円（前年同期比8.4%増）、売上高は162億85百万円（同11.6%増）、営業利益は31億76百万円（同30.0%増）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内において自動車製造工場向けシステムや粉粒体搬送装置などの売上が減少しましたが、北米、欧州において工作機械業界向け金属屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は103億38百万円（前年同期比34.0%増）、売上高は77億37百万円（同4.4%増）、営業損失は4億93百万円（前年同期は4億49百万円の営業損失）となりました。

[その他]

その他の受注高は5億53百万円（前年同期比18.8%増）、売上高は4億72百万円（同13.9%増）、営業利益は16百万円（同113.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して17億58百万円減少し、2,270億81百万円となりました。

流動資産は、仕掛品の増加などによりたな卸資産が13億89百万円増加した一方、設備投資や配当金の支払などにより現金及び預金が8億86百万円の減少、譲渡性預金の減少などにより有価証券が17億16百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して27億20百万円減少し、979億5百万円となりました。

固定資産は、減価償却による減少などにより有形固定資産が7億92百万円減少した一方、保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が21億45百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して9億61百万円増加し、1,291億75百万円となりました。

(負債)

負債は、退職給付に係る負債が12億14百万円増加した一方、賞与引当金が14億40百万円減少したこと、未払法人税等が19億37百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して27億99百万円減少し、1,044億13百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替換算調整勘定が11億78百万円減少した一方、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が8億47百万円増加したこと、利益剰余金が12億29百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して10億40百万円増加の1,226億68百万円となり、自己資本比率は52.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期(累計)および通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成26年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が12億2百万円増加し、利益剰余金が7億74百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,518	12,632
受取手形及び売掛金	44,337	43,338
有価証券	7,877	6,161
商品及び製品	13,028	13,271
仕掛品	9,150	10,601
原材料及び貯蔵品	7,446	7,141
その他	5,707	5,193
貸倒引当金	△440	△434
流動資産合計	100,626	97,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,465	25,943
機械装置及び運搬具（純額）	25,996	26,277
工具、器具及び備品（純額）	2,487	2,490
土地	37,472	37,415
建設仮勘定	4,430	3,932
有形固定資産合計	96,852	96,059
無形固定資産	5,807	5,415
投資その他の資産		
投資有価証券	19,207	21,363
その他	6,479	6,468
貸倒引当金	△132	△132
投資その他の資産合計	25,554	27,700
固定資産合計	128,213	129,175
資産合計	228,840	227,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,269	23,961
短期借入金	8,422	8,611
1年内返済予定の長期借入金	10,425	613
未払法人税等	2,944	1,006
賞与引当金	3,591	2,151
工事損失引当金	28	28
その他	11,322	11,989
流動負債合計	62,003	48,364
固定負債		
社債	-	10,000
長期借入金	17,690	17,333
役員退職慰労引当金	213	189
退職給付に係る負債	10,910	12,124
資産除去債務	239	239
その他	16,153	16,160
固定負債合計	45,208	56,048
負債合計	107,212	104,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	92,072	93,301
自己株式	△2,037	△2,040
株主資本合計	119,769	120,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,427	7,274
繰延ヘッジ損益	15	16
土地再評価差額金	△11,348	△11,348
為替換算調整勘定	4,182	3,004
退職給付に係る調整累計額	△613	△564
その他の包括利益累計額合計	△1,336	△1,618
少数株主持分	3,194	3,290
純資産合計	121,628	122,668
負債純資産合計	228,840	227,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	40,539	44,448
売上原価	28,908	30,840
売上総利益	11,631	13,608
販売費及び一般管理費	8,441	9,060
営業利益	3,190	4,547
営業外収益		
受取利息	17	36
受取配当金	244	315
その他	116	165
営業外収益合計	378	517
営業外費用		
支払利息	106	108
その他	206	176
営業外費用合計	313	284
経常利益	3,255	4,780
特別利益		
受取保険金	-	32
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	32
特別損失		
投資有価証券評価損	-	44
特別損失合計	-	44
税金等調整前四半期純利益	3,256	4,767
法人税、住民税及び事業税	570	1,090
法人税等調整額	688	556
法人税等合計	1,258	1,647
少数株主損益調整前四半期純利益	1,997	3,120
少数株主利益	86	74
四半期純利益	1,911	3,045

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,997	3,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,635	850
繰延ヘッジ損益	23	0
為替換算調整勘定	2,773	△1,246
退職給付に係る調整額	-	48
持分法適用会社に対する持分相当額	38	△15
その他の包括利益合計	4,470	△362
四半期包括利益	6,468	2,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,182	2,764
少数株主に係る四半期包括利益	285	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,332	4,793	14,590	7,408	40,124	415	40,539	—	40,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	259	72	—	18	350	195	546	△546	—
計	13,592	4,865	14,590	7,426	40,475	611	41,086	△546	40,539
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	814	368	2,443	△449	3,177	7	3,184	5	3,190

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額5百万円には、セグメント間取引消去68百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,569	5,383	16,285	7,737	43,975	472	44,448	—	44,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	330	104	—	4	440	196	636	△636	—
計	14,900	5,488	16,285	7,741	44,415	669	45,084	△636	44,448
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,307	532	3,176	△493	4,522	16	4,538	8	4,547

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額8百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。